富	山高等専	門学	校		開講年度	平成30年度 (2	018年度)	授業科目	英会話演	習Ⅱ			
科目基礎	情報												
科目番号		0:	L74				科目区分	一般 / 追	 戥択				
授業形態		授業						単位の種別と単位数 学修単位: 1					
開設学科		機械システム工学科					対象学年	4					
開設期		後期					週時間数	1					
<u>//102//1</u> 教科書/教材							KZFYIDIXA I						
担当教員	<i>,</i> ,				<u> </u>								
<del>===322</del> 到達目標	i		<i>,</i> ,	1 0.7	<u> </u>								
①Ability t ②Ability t ③Ability t	o underst o responc o use bas	l to b	asic qu	uestio	ns introduce	during the course o ed during the cours ing the course of th	se of the curricul	um.					
ルーブリ	ツク						I=		1	=			
				_	想的な到達レ		標準的な到達レ^		ベルの目安				
评価項目1				co	ility to hear mmunicatio ongoing co	n and to continue	Ability to undersexpressions intressions intressions intressions.	oduced during		Failure to hear and understand expressions introduced in the text.			
評価項目2 fc				Ab co fol	ility to reply mplex answ low-up que	to questions with ers and offer stions.	Ability to respor questions introc course of the cu	ond to basic boduced during the curriculum.		ure to respond to basic stions.			
Ab ap potr cor				ap otl co	ility to mak propriate us ner non-ver mmunicatio nversastion	se of gestures and bal ns as part of a	pasic gestures as ing the course of other of explair		to use gestures and ommunication tools ed during the class.				
学科の到 学習・教育				係									
JABEE 1(2 ディプロマ	2)(f) ゚゚゚゚ポリシー												
教育方法	等												
既要		$\neg$				アリング技能の上達を 基礎的な英語を聞き取	を中心に、英会話技 なりながら適当なが	支術の向上を図る 支応が出来るよ	ることを目的 うに練習しま	としています。 す。	。授業では 		
受業の進め	方・方法	-	義およ										
主意点		理	解度に	応じて	変更する場合	合があります。							
受業計画													
		週		授業四	内容			週ごとの到達目	標				
		1週		Chap	ter 9		Talking about health						
		2週		Chap	ter 9			Questions about sickness					
		3週		Chap	ter 10			Suggesting and inviting					
		4週		_					Travel English: Restaurants				
	3rdQ	5週							Oral Presentations; Talking about the past				
								Why were you ···? / Past progressive and sir					
		6週		Chap	ter 12			past					
		7週		Chap	ter 13			Trael English: Shopping					
<b></b>		8週		Chap	ter 14			Giving advice					
		9週		Oral	Presentation			Oral Presentations; Talking about the past					
		10边	<u></u>		ter 15			What would you do if ··· ?					
		11近	- -		ter 16		Talking about movies						
	441- 0	12近	<u></u>	· ·	ter 16			Giving travel advice, English for hotel stays					
	4thQ	13词			ter 17			Talkopoly					
		<b>14</b> 边		Revie				Review chapter materials covered in class					
		15词		Sumi	mary (after	final test)		Return and discuss tests					
		16i		Summary (after final test)									
モデルコ	アカリコ	-		学習	内容と到達	   							
<u>こ / / / 一</u> 分類			<u>ノム・</u> 分野	<u>, ⊢</u>	学習内容	<u>- 17 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7</u>	<u> </u>			到達レベル	授業调		
		7523		, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	子首内谷の到達日候   聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイント  -ション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる			」やイントネ E話できる。	3				
基礎的能力					英語運用の	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・ クセントの規則を習得して適切に運用できる。				3			
	人文・社 科学	±会 <sub>英語</sub>			基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じれ 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して追切な運用ができる。				3			
	/  科学					中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準した文法や文構造を習得して適切に運用できる。				3			
	1				英語運用能 力の基礎固 め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表			以及 じはつざ	2	1		
					力の基礎固	きる。							

				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる	3
				ように音読ができる。 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報	
				を読み取ることができる。	3
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して 、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などがで きる。	3
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、	3
			英語運用能力向上のための学習	   母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外   で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など のやりとりができる。	3
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル などの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクト や口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカル ライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことがで	3
				きる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3
				日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3
	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で 正しい文章を記述できる。	3
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相 づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	3
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3
分野横断的能力				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に 収集することができる。	3
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要が あることを知っている。	3
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について 自己責任が発生することを知っている。	3
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3
				複数の情報を整理・構造化できる。	3
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3
	態度・志向 性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	3
				目標の実現に向けて計画ができる。	3
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができ	3
				<u>ි</u> වි	

		= =	当事者意識をもって	こチームでの作業・	研究を進めること	ができる 3			
		= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	チームのメンバーと	. 3					
評価割合									
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割合	60	0	0	40	0	0	100		
基礎的能力	60	0	0	40	0	0	100		
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0		
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0		